

令和3年度 第2回 浜松市美術館協議会

日 時 令和3年12月9日(木)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 浜松市美術館 講座室

次 第

- 1 開 会
- 2 浜松市美術館協議会会長あいさつ
- 3 浜松市市民部文化振興担当部長あいさつ
- 4 議 題
 - ・浜松市美術館・秋野不矩美術館外部評価について
 - ・その他
- 6 閉 会

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	A
1. 展覧会について	
評価する点	
【仲山計介展】 浜松ゆかりの作家のスケールの大きな日本画の展示は迫力があり、黒バックに照明で浮かび上がらせる展示は効果的だったと思う。	
【国芳から芳年へ展】 浮世絵の中でも珍しい作品が見られる面白い展示であった。	
改善すべき点	
【仲山計介展】 暗い中、キャプションが見えにくい場所もあったので一工夫欲しい。見えやすいのなら低くてもよいが、高さなども考慮していただきたい。	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
コロナウイルス感染防止のため中止にせざるを得なかったことは残念だが、SNSを活用した発信は効果的だと思う。	
改善すべき点	
コロナ禍の中でギャラリートークに替わるものとしてビデオ解説なども考えたらと思う。学生を対象に模写、スケッチが館内で出来るような日又は部屋を設定できたらよい。	
3. その他施設等について	
評価する点	
老朽化とスペースの足りなさを展示の工夫などで補っている。	
改善すべき点	
駐車場からの経路案内を一目で分かりやすいようにしてポスターなども数か所に設置したらいいと思う。 やはり政令市の美術館としては規模が小さいと思うので拡張又は新美術館をと考える。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	A
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【花と緑の日本画展】 テーマを「花と緑」として多くの画家の作品を一堂に鑑賞できるということは楽しいと思う。 秋野不矩さんの作品は勿論、この美術館の展示・内容は格調高くいつも素晴らしいと思っている。</p>	
改善すべき点	
所蔵品展のマンネリ化への対策が必要かと思う。	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>ワークショップ以外の方法も検討してほしい。 作家の制作の様子ビデオなどを流すとか、ギャラリートーク、講演等も工夫してほしい。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
小規模ではあるが、内容は充実していると思う。	
改善すべき点	
<p>カフェなどがあればと思う。 坂道が急なので下の駐車場からエレベーターなどがあればいいと思う。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	B
1. 展覧会について	
評価する点	
【館藏品展】 新たに収集した作品や、館の既存コレクションを展示することは館のアイデンティティを示すことになり、重要な公開方法のひとつだと思います。今後も継続して取り組むことを期待します。	
【くまのパディントン展】 普段美術館に足を運ばない客層の発掘につながったのではないかと。	
【国芳から芳年へ展】 近年注目を集めている国芳の展示は時宜に適ったもので、その中でも尾崎久弥や高木繁といったコレクターの紹介が秀逸であった。	
改善すべき点	
【館藏品展】 展覧会のタイトル「館藏品展」は工夫が必要。来館者の興味を引く、タイトルで訴求力のあるものにすべき。作品構成や展示コンセプト等の新たな切り口があると良い。	
【くまのパディントン展】 巡回展なので、内容を組み替えることは難しいと思うが、館独自の関連企画を考えるなど工夫が望まれる。	
【国芳から芳年へ展】 この展覧会も外部からの持ち込み企画なので、館の独自性を出すことは困難だと思うが、関連したミニ展示を追加するなど、館の独自性を出す取り組みが望まれる。	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
【講演会について】 感染防止に留意しながら、中止ではなく実施した点。	
改善すべき点	
YouTubeやZoomを活用するなど、対面によらない実施方法もある。ギャラリー・トークも含め、自宅に居ながら、参加できる取組みを進めてほしい。	
3. その他施設等について	
評価する点	
【人員体制について】 少ない人員で美術館事業を担っている点。	
【展覧会図録について】 展覧会毎に図録を発行している点	
【常設展の設置について】 「館藏品展」を開催している点	
改善すべき点	
【人員体制について】 展覧会や教育普及事業で改善点を指摘したが、質の高い美術館事業を実現するためには、プロパー人材の育成と人員体制の充実が望まれる。	
【展覧会図録について】 展覧会が終了した後も、図録を売店や郵送等で購入できる仕組みを作してほしい。	
【常設展の設置について】 特別展(企画展)を中心に構成している現在の運営体制から、常設のコレクションを展示するスペースを確保するなど、館の収蔵作品を常時公開する努力をすべき。施設の構造上、困難なことだと思うが、改修を含めて検討を進めることが必要。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	B
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【佐藤美術館コレクション花と緑の日本画展】 目標値の達成率が高く、内容的にも「花と緑」という親しみやすいテーマが来館者の増加をもたらしたのではないかと。美術館の鑑賞空間と展示された日本画との親和性が高く、他の美術館やコレクションとのコラボレーションを進めた点。</p>	
改善すべき点	
<p>【佐藤美術館コレクション花と緑の日本画展】 学芸員が企画を立ち上げる、自主企画として特別展を開催できることが理想。平常展をやりつつ、特別展も企画・実施し、収集・保存・教育普及を行うのは、現状の人員体制的に極めて困難だと思いが、ぜひ実現してほしい。そのための予算措置と専門職としての学芸員の配置には、市として真摯に取り組んでもらいたい。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>【団体鑑賞について】 学校教育を含む団体鑑賞は、事前案内(鑑賞の目的・方法・ポイント)などを行い、見学の際はただ鑑賞するだけでなく、生徒との意見交換(交流)、鑑賞後のフィードバックなど多岐に渡る。1名の学芸員が学校団体など教育普及活動を兼務するのには限界がある。本気で学校団体に向けたPRを行い、実践するためには、教育普及担当を専従で配置するなど改善が必要。</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>【情報発信について】 TwitterなどSNSツールを使った情報発信を積極的に行い、新規来館者やファン層の獲得に努めること。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	C
1. 展覧会について	
評価する点	
仲山計介展SNS情報発信 購入企画の実施	
改善すべき点	
展覧会の入場を促す発信として効果があったのか検証を望む。 コロナ禍での鑑賞方法としての工夫を望む。 購入企画は他所でも巡回し実施されるので浜松市美術館としての工夫があるとよい。学芸員のスキルアップの機会としての活用も考えると良い。 ゆかりの収蔵品展の入場者数のカウント方法に違和感あり。	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
学校教育と異なる美術館としての教育普及活動を望む。 美術館に足を運べる市民は限られるのでその方達への鑑賞や体験の機会を検討してほしい。	
3. その他施設等について	
評価する点	
施設の整備は整ったと理解した。	
改善すべき点	
施設設備は限定されるが、企画他活動を館内スペースにとらわれず、活用・デザインの工夫を望む。 会計年度任用職員の方々の活躍を期待する。 情報発信、SNS活用の整理を望む。 館内写真撮影の効果と鑑賞機会の質の低下への対応を抱き合わせで検討してほしい。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	C
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>平常展、特別展の目標入場者数の達成状況から、展示内容が変わればある一定数のリピート客がいるのではと察した。 平常展での秋野氏の画業のアプローチがあった。</p>	
改善すべき点	
<p>入場者を分析し、次回企画や教育普及活動につなげてほしい。 目標入場者数の設定根拠を示してほしい。 館の広さから適正入場者数を設定できないか。 平常展では秋野氏を多角的にとらえた企画・新しい価値の発見を望む。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>団体鑑賞の意義と目的を知りたい。 児童・生徒(中高生を含め)への鑑賞プログラムづくりを望む。</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>情報発信が入場を促す媒体に偏っていると思う。 市民ギャラリーの利用率・入場者数を知りたい。 藤森照信氏の作品を観に来る来館者へのアプローチ、発信があればよいと思う。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	D
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>東京オリンピック開催予定だった年に、「JAPN」をテーマとして展示会が構成されたことや、特別展では幅広い層が訪れることができる「くまのパディントン展」の企画は素晴らしいと思います。</p> <p>遊び心のある、ゲームやSNSによるキャンペーンの開催の工夫が展示会の作品を鑑賞した思い出をより強くすると思いました。</p> <p>コロナ禍での工夫された美術館運営、感染症予防対策。</p>	
改善すべき点	
<p>美術館に年間の基本コンセプトがあります。せつかつならその思いを展示会スケジュールやHP等に明記し、広報していくことが一つの展覧会への来館だけでなく、次も見に行こうという意識につながるのではと感じました。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>コロナ禍の制約がいつまで続くか分かりませんが、具体的取り組みとして予定されている活動が一つでも多く実施できることを期待しています。</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>展示会を鑑賞する同線として、1階から2階への階段を何か一工夫できないものかと感じます。</p> <p>若い人の客層拡大へのSNSを活用した情報発信は、内容もタイムリーで有効だと拝見し、感じました。ただ、多くの方が簡単に開くことができるHPが簡潔な説明はいいのですが、美術館のHPとして行ってみたいという関心を引き立てる面では、物足りない気がします。市のHPの制約があるのでしょうか。</p> <p>展示会のポスターを見る機会がありますが、浜松市美術館のポスターは展示スペースより小さいため見劣りがします。秋野不矩美術館のポスターのようにもう一回り大きい方がアピールできると思います。また、静岡市美術館のポスターを浜松駅で見かけます。静岡駅でも浜松市美術館のポスターが見られると集客につながるのではと考えます。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	D
3. その他施設等について	
改善すべき点	
緑に囲まれた、藤森照信氏建築の美術館は、敷地に入り外観を見ているだけでもとても魅力的です。藤森建築が話題になっている今、秋野不矩美術館をもっとアピールできれば、展示会の集客につながると感じます。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	E
1. 展覧会について	
評価する点	
【くまのパティントン展】 子供が参加しやすい夏休みを挟んで開催したことは、時宜を得た企画だと思います。	
【国芳から芳年へ展】 名が知れた作者の浮世絵展は、地方の住民が、身近に接する機会を提供できて良かった。	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
【ギャラリートーク・講演会】 新型コロナウイルス感染防止の為、規模を縮小、または中止したことはやむを得ないと思います。	
改善すべき点	
新型コロナウイルス感染症により、一部実施できなかったようであるが、代わりに積極的に動画配信等を行ってはと感じました。	
3. その他施設等について	
評価する点	
SNSを活用した情報発信は、時代に合った活動として良かったと思う。	
改善すべき点	
今後もSNSを積極的に拡大していくことを望みます。 広報「はままつ」に美術館の案内が少ないと思われます。美術館コーナーを設け、毎月定期的に美術館の展示スケジュールを掲載することによって、市民の関心が深まると思います。少なくとも開催期間中の月は掲載してほしい。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	E
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【秋野不矩 色ふる筆の跡 I、II、III、IV展】 秋野画伯の画風を深く掘り下げた展示は、特色ある美術館として良かったと思う。</p>	
改善すべき点	
<p>【秋野不矩 色ふる筆の跡 I、II、III、IV展】 秋野画伯の他館貯蔵品を集めた展示(過去にあったかもしれませんが?)をするなどして、さらに特色を深めてほしい。</p>	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
<p>【団体鑑賞・ワークショップ】 新型コロナウイルス感染防止の為、中止となったことはやむを得ないことと思う。</p>	
改善すべき点	
<p>【団体鑑賞・ワークショップ】 展覧会の内容に応じたギャラリートーク等を実施した方が良いと思われる。また、その内容を動画配信すれば、さらなる普及活動に繋がると考えられます。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>【団体鑑賞・ワークショップ】 ポスター、チラシ、新聞広告、TVCMなど、あらゆる方法での情報発信は、広く市民に知ってもらう為に必要なことであると思われる。今後も続けてほしいです。</p>	
改善すべき点	
<p>広報「はままつ」に美術館の案内が少ないと思われます。美術館コーナーを設け、毎月定期的に美術館の展示スケジュールを掲載することによって、市民の関心が深まると考えられます。少なくとも開催期間中の月は掲載してほしい。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	F
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【はままつゆかりの収蔵品展】 山下青崖等をはじめとする、本市にゆかりのある作家の作品を展示公開することは、地方公立美術館としての重要な職責を果たしている。ぜひ今後も継続したい。</p>	
<p>【くまのパディントン展】 夏休み期間ということもあり、家族向けの展覧会として効果的であったと思われる。イベントも多く開催され、企画全体に多くの工夫が見られた。</p>	
改善すべき点	
<p>【はままつゆかりの収蔵品展】 作家の功績に比して知名度が高くないことから、故人のエピソードやプロフィール等の紹介を工夫することで、多くの市民に興味を持って観覧してもらいたい。</p>	
<p>【くまのパディントン展】 感染症の影響が大きいと思われるが、夏のイベント的な展覧会としては達成率が低調であった。今後より多くの市民に観覧してもらおう工夫が求められる。</p>	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
<p>【ギャラリートーク】 仲山計介展では、SNSというICT機器を活用した情報発信が行われた点で工夫が見られた。コストパフォーマンスの点からも、今後継続していくべきサービスのひとつだと思われる。</p>	
改善すべき点	
<p>【ギャラリートーク】 感染症については、今後第6波も予想されている。ライブ配信やオンデマンド配信等の可能性について検討し、ウイズコロナの時代においても可能な新しいギャラリートークの在り方を研究する必要があると思う。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>【情報発信】 1階休憩スペースの映像モニターが有効活用され、次回展覧会案内や現行展覧会の見どころ等が工夫されて発信されている。内容も数分と短い内容となっていることから、休憩しながら観るのに丁度よく、且つ分かりやすい。</p>	
改善すべき点	
<p>【情報発信】 城周辺の改修や芝生広場への飲食店進出により、美術館から見て東側や北側にエリアに人流が多く見られる。今後はこういった人々に展覧会を周知する手段(掲示板や告知ビジョン等)について積極的に検討したい。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	F
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【秋野不矩色ふる筆の後Ⅰ～Ⅳ】 秋野不矩の豊富な収蔵作品の中から、テーマに最適な構成が選ばれていることから、新たな関心や感動を呼び起こすことができた。</p>	
改善すべき点	
<p>【秋野不矩色ふる筆の後Ⅰ～Ⅳ】 「不易と流行」ということになるが、これまでの典型的な展覧会に加えて、不矩の功績や作品のジャンルを大きく解釈した、新たな美術領域や作家とコラボレーションした展覧会を企画したい。</p>	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
<p>【ワークショップ】 コロナ禍においても、当初積極的にワークショップを計画し、実現可能性を模索していた点については評価できる。</p>	
改善すべき点	
<p>【ワークショップ】 年度内は、感染症予防のため未実施に終わったワークショップがほとんどであった。今後はウイズコロナでも開催できるようなワークショップの実施方法(SNSや動画配信サービスによる)についても検討する必要がある。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>建築家藤森氏の設計による本美術館は、建物自体に魅力があり、まさに「静かに作品と対話できる空間」となっている。今後もこまめな修繕を重ねることで、この良さを維持して欲しい。</p>	
改善すべき点	
<p>駐車場から美術館へと続くアプローチの殆どがアスファルト舗装である点が残念である。秋野不矩の世界観へと導くアプローチとしては、やはり土や土色をメインとした小路や休憩スペースとしたい。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	G
1. 展覧会について	
評価する点	
展覧会のネーミングにより興味を持つことが出来る。R2年度の展覧会の名称はCMの効果もあり、聞き覚えがある。 幅広い年齢層を対象に展覧会が企画されていると感じた。	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
【子どもの市展】 子どもの市展(幼・小・中)は集客が見込まれてよいと感じる。	
改善すべき点	
コロナ禍であっても活動できる内容を考える必要がある。 【子どもの市展】 コロナ対策が難しい。美術館開催になって2回実施したが、このような状況が続くと今後の開催について検討が必要でないかと思う。(R3は中学校のみ)	
3. その他施設等について	
評価する点	
木々の中の美術館で自然と調和していて雰囲気はとてもよい。	
改善すべき点	
駐車場が遠く、高齢の方、幼児連れ、足腰の悪い方にとっては出かけにくさがあるのではないかと思う。 市役所の角や美術館の入口など、通り沿いにアートの看板があるとよいのではと思う。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	G
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
コロナ禍であっても活動できる内容を考える必要がある。	
3. その他施設等について	
評価する点	
広々とした場所で展示をゆったり観覧でき、雰囲気がとてもよい。	
改善すべき点	
施設内で話し合えるような場所があると活用が広がるのではないかと思う。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	H
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【国芳から芳年へ展】 日本の木版画の巧みな技術と繊細な表現を見せていただいた。幕末の浮世絵の役割を知ることが出来た。展示方法に工夫がみられた。</p>	
改善すべき点	
<p>写真撮影のシャッター音が不快との声があったと聞くが、大多数の人はシャッター音は許容していると推測する。ごく少数の不快を訴える人のために今後写真撮影が不許可になるようなことがないようにしていただきたい。</p>	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
<p>【ギャラリートーク・講演会】 新型コロナ禍の最中でもSNSを活用したり、定員をしばりながらも実施できたこと。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>【情報発信】 私達美術館協議会委員の経験者に招待状を送っていただいて周囲にPRするきっかけになっている。</p>	
改善すべき点	
<p>【情報発信】 美術館協議会委員や協力者にLINE等でPRし、拡散してもらうことも一手段ではないでしょうか。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	H
1. 展覧会について	
評価する点	
【花と緑の日本画展】 多くの日本画家の作品を観ることが出来て、様々な技法を同時に見ていただくことが出来た。	
3. その他施設等について	
評価する点	
秋野不矩美術館という施設名、設計者藤森照信氏の知名度により経年した今も遠方からの来館者がある。やはり美術館の名前、設計者、建築物は大切と思う。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	I
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【くまのパディントン展】 壁の紺色とイラストが目立つように工夫されていてよい。多くの作品を集め展示会が開催できてよかった。イラストレーターの変遷や時代によって雰囲気の違いがよく分かった。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 大判三枚続が多数展示されていて圧巻だった。</p>	
改善すべき点	
<p>【くまのパディントン展】 照明の具合・工夫が必要。影が気になった。DVD再生のディスプレイは画面以外が見えないように壁の中に組み込みたい。展示ガラスケースの大きいものは背が低い子供には高く見えにくいのでは。手紙とかは拡大コピーして展示するのもありか。ガラスケースの位置の工夫が必要。出口の所にまとめると混み合ってしまう。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 高齢者が多く、喋って三密になっていた。作品の展示間隔がやや狭く感じた。</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>足腰が弱い70歳以上の高齢者にはすぐ近くの駐車場が利用できるパスポートを発行するなどして、コンコルド前の駐車場が有料化になったときに備えたい。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	I
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【花と緑の日本画展】 様々な日本画の展示があってユニークでおもしろかった。</p>	
改善すべき点	
<p>【花と緑の日本画展】 3つの展示スペースの大小の違いがありすぎて、作品展示が難しい。 どれも入り口が一つしかないため三蜜になってしまう。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>オンラインによるワークショップの実施について全国の学校と繋がるメリットがある。 学校の美術室と繋がる環境を整えておけばいつでも授業で参加できる。 学校にとって旅費等の金銭的な心配やバスの手配・感染予防等の仕事を増やすことなく 利用できる。中高の美術部が放課後活動時に参加できると更に実績があがるのでは。</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>建築家の藤森氏が設計した他の美術館等とコラボする。 天竜美林に囲まれた天然素材を生かした美術館としてもっとSNS等で広報する。 施設として館内にカフェ希望が多いが場所的・人的にも困難なので、特別展の土日あたりに外の駐車場にキッチンカータイプのコーヒー店の出前を呼ぶなどをしてみたらどうか。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	J
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【国芳から芳年へ展】 名古屋市博物館のコレクションを、名古屋市博物館のしっかりとした企画・構成で見せた。特に細かい表現技法などを解説と拡大画像でわかりやすく示した点など、作品そのものの見方を伝えた点、評価できる。</p>	
改善すべき点	
<p>【国芳から芳年へ展】 歌川国芳、月岡芳年は近年注目の浮世絵師であり、たびたび展覧会も行われ、浮世絵関係では人を呼べる企画である。そのあたりどの程度意識的であったのか、内部評価の総評を読んで思った。また作品の写真撮影については、他の観覧者の迷惑になることもあり、場所を限定するなど工夫が必要であろう。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>新型コロナ感染症対策のため、ほとんど実施できなかったが、すぐにコロナ前に戻れるわけではないと思うので、実施方法など検討すべきであろう。(今年度の実施状況を把握していないので、既に工夫されているかもしれませんが。)</p>	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
<p>来場者アンケートについて、展覧会ごとの回収数も示してほしい。また情報発信に関連して、作品の写真撮影は、「みほとけのキセキ展」では仏像を見るのに邪魔になっている場面がかなりあった。展覧会において何を優先すべきか考えるべき。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	J
1. 展覧会について	
改善すべき点	
(令和2年度の展示を拝見していないので全体的な感想)コロナ禍に関わらず、入館者数が例年と変わらない。その理由について、館としての分析はありますか？	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
新型コロナ感染症対策のため、ほとんど実施できなかったが、すぐにコロナ前に戻れるわけではないと思うので、実施方法など検討すべきであろう。(今年度の実施状況を把握していないので、既に工夫されているかもしれませんが。)	
3. その他施設等について	
評価する点	
改修工事が完了した点。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	K
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【国芳から芳年へ展】 浮世絵、ユーモア、残酷さなど多くの人が興味を持てる展覧会だった。江戸の浮世絵が次の時代にどう継がれていくか河鍋暁斎などの系図が展示されていてよかった。暁斎の絵画、それ以降のその流れをくむ絵画(写真)の掲示があれば浮世絵がその後に関わっていったかがより分かりやすかったと思う。</p>	
改善すべき点	
<p>【国芳から芳年へ展】 「国芳から・・・」は観るに支障があるほどではなかったが、コロナ禍だったので人混みが気にかかった。快く鑑賞するため、コロナ禍いかににかかわらず、多くの観覧客がみこまれる場合は、予約や入場制限などの措置がこれからは必要かと思う。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>ギャラリートークが出来なかったということですが、SNSを活用してのトーク、講演会などを取り組んでほしいと思う。 学校、企業、地域の生涯学習活動へのアウトリーチに期待する。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	K
1. 展覧会について	
改善すべき点	
【平常展】 常設の展示で観覧者にリピートしていただけるよう企画していくのは大変だと思います。今回は色という切り口で企画されたのは素晴らしいと思いました。今後新しい切り口を見せていただけることを期待します。	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
浜松市美術館と同じように、キャプション、解説についての平易な表現を考えてほしい、また地域に向けてのアプローチを考えてほしいと思います。	
3. その他施設等について	
評価する点	
藤森照信氏、秋野不矩氏の意思のこもった美術館とそれを取り囲む環境は、2氏と地域の人たちで創った作品といえます。今後もこの作品を守ってってください。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	L
1. 展覧会について	
評価する点	
【仲山計介展】 地域と繋がりのある作家を紹介することは身近に感じ、認識を新たにする。	
【国芳から芳年へ展】 会場の設営もよく外国にない日本の絵の繊細を感じた。	
【くまのパディントン展】 児童文学的なものに関心のない人も第3展示室だけでも見に来て良かった。	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	L
1. 展覧会について	
評価する点	
【花と緑の日本画展】 道の草がきれいに刈り取られ、整備が行き届いていた。 花や小鳥を手に取りたくなるような日本画のすばらしさを感じた。	
3. その他施設等について	
改善すべき点	
浜松市は温暖なため草木がすぐ伸びてしまい、美術館の魅力である坂道の維持管理は大変で手間のかからない方向に持っていった方が良い。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	M
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【第68回市展】 浜松市の美術展で最も評価できるのは市展ではないかと思えます。毎回、力作が並び殆どの応募者は所謂アマチュアだと思えますが、全国どこでも同じことが言えるかと思えますが、市井のアーティストの層の厚さに驚きます。また、表彰式などで作家のお話や、作品制作エピソードを伺うと、その作品が生き生きと輝いてきます。</p>	
<p>【くまのパティントン展】 パティントンベアの事は殆ど知らなかったもので、その成り立ちに触れられて面白かったのですが、それ以外に評価すべき点のない展覧会でした。小さい原画の羅列を前にして、誰を対象にしているのか、だれが観たら面白いのか、主催者のメッセージは何なのか、曖昧な展覧会に感じました。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 名古屋市美術館作成のキャプションや企画案そのものが、期待していた以上に面白く、私はこの期間では最も評価する展覧会です。</p>	
改善すべき点	
<p>【第68回市展】 現状の市展表彰式や展覧会をみていると、この大切な資産を地域アーティストの活性化や地域アート環境の醸成に生かされていないのではと残念に思えます。浜松は創造都市として音楽分野も同様ですが、アマチュア芸術文化の存在が特徴的な地域です。是非市展の在り方を根本的に再検討して頂きたいと思えます。</p>	
<p>【くまのパティントン展】 浜松市美術館の展覧会として、どんなメッセージを送りたいのか企画段階で明らかにして、それが分からない企画は買い取っても意味がないと感じました。浜松市美術館は、買取企画によって、入館者が増えて良い傾向だと思えますが、タレントアーティスト展覧会企画もそろそろ転換期と思えます。いたずらに入館者数を追わない矜持も持つべきかと思えます。その点では、この期間中ではありませんが、「遠州の民藝展」は入場者数は苦戦したのではと推測しますが、地味ながら良い企画だったと思えます。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 展覧会そのものではなく、浜松市美術館がこのくらいの企画が出来るようになると良いなと思えました。前述したように、浜松市美術館の将来像を考える時が来ているのではと思えますが、しっかり議論が出来るような将来構想委員会の設置が必要と思えます。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	M
1. 展覧会について	
評価する点	
【佐野美術館コレクション花と緑の日本画展】 私が協議会委員の間で拝見した秋野不矩美術館での展覧会では一番満足度が高かった展覧会だと思います。	
改善すべき点	
多くの方がアクセスできない場所での、この様な展覧会は、せっかく開催するのに勿体ないとも思うのですが、秋野不矩美術館をどうするのかを含めて考えなくてはいけないテーマだと考えます。指定管理が来年度から始まりますが、何か変化が生まれるといいですね。立地の不利は如何ともないとして、それをカバーして秘境美術館的なキャラクターでWEBを使った発信活動に活路を見出して、来館が貴重な体験になるような仕掛ができたら良いですね。	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	N
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【くまのパディントン展】 夏休みに家族で楽しめるよい企画でした。新型コロナ対策のため、いろいろな制限がある中での開催でしたが、十分に楽しめました。 パディントンを児童文学として見直す良い機会となりました。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 見応えのある作品が多く、鑑賞した知人からも「とてもよかった」との感想が届くなど、よい企画だったと思います。</p>	
改善すべき点	
<p>【くまのパディントン展】 大人には分かりやすい解説でしたが、子供には少し難しいように感じました。今回のような大人から子供まで楽しめる企画の時には、大人向けと子供向け両方の解説を用意するというのは無理でしょうか。</p>	
<p>【国芳から芳年へ展】 写真撮影できることはよいと思いますが、周りの方が不快な思いをしないような配慮を周知する必要があると思います。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>【児童生徒作品展 出前講座 職場体験】 新型コロナ感染防止のために、これまでの積み重ねにより定着してきた活動ができなかったことは、とても残念に思いました。 新型コロナの終息が見えないなか、子供たちと美術館との接点が無くなってしまふことが心配です。オンラインでの解説や動画の配信など、何かできないでしょうか。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>【広報活動】 企画展の広報がテレビ等で流され効果的でした。また「みほとけのキセキ展」では地元TVが製作した番組が館内で流され、作品への理解が深まってよかったです。</p>	
改善すべき点	
<p>【広報活動】 公立の美術館として難しい面はあるかもしれませんが、展示内容を多くの人に知ってもらうためには、メディアとの連携しての広報活動は積極的に行っていくべきだと思います。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	N
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【花と緑の日本画展】 「花と緑」をテーマにした様々な日本画作品を鑑賞し、コロナで暗くなりがちだった気持ちが癒されました。いろいろな人の作品の中から自分のお気に入りを見つけることも美術館を訪れる楽しみの一つだと思います。</p>	
<p>【秋野不矩 色ふる筆の跡】 テーマを決めて所蔵品を公開することは、新たな視点で作品を鑑賞することにつながり、とてもよい試みだと思います。</p>	
改善すべき点	
<p>【花と緑の日本画展】 地理的な理由から、なかなか美術館に足が向かない人もいます。せっかくの企画展ですから、そうした人を引き付けるような広報活動が必要だと思います。</p>	
<p>【秋野不矩 色ふる筆の跡】 不矩先生の作品を見たくて来館する方も多と思います。人気の高い代表作については、いつでも見ることができるよう固定展示でよいと思います。</p>	
2. 教育普及活動について	
改善すべき点	
<p>【団体鑑賞等】 新型コロナ感染防止のために、これまでの活動ができなかったことは仕方がないことですが、とても残念に思います。 新型コロナの終息が見えないなか、子供たちと美術館との接点が無くなってしまふことが心配です。オンラインでの解説や動画の配信など、何かできないでしょうか。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>【スリッパの使用】 新型コロナ感染予防の観点から、入館者の健康状態のチェック、使用済スリッパの消毒など、いろいろな面で気を配ることが多く大変だったと思いますが、職員の方が丁寧に対応されていました。</p>	
改善すべき点	
<p>【スリッパの使用】 秋野不矩美術館では、入口で下靴からスリッパに履き替えますが、数メートル歩いた所でスリッパを脱ぎ、素足(靴下)で展示室に入ることになっています。その短い距離だけスリッパに履き替えることには、何か理由があるのでしょうか。簡単な施設改修でそれがクリアできるのであれば、スリッパの履き替え無しの方が、来館者にとっても職員にとってもありがたいように感じますがいかがでしょうか。</p>	

■令和3年度 浜松市美術館外部評価

委員名	0
1. 展覧会について	
評価する点	
<p>【くまのパディントン展】 ゲームやSNS等を取り入れ、来館者の満足度を上げる工夫をされ、コロナ禍での展覧会の持ち方についての1つの方法となった。</p>	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
<p>コロナ禍での実施は難しかったと思います。 その中でも出来ることを探って実施されたことが分かりました。</p>	
3. その他施設等について	
評価する点	
<p>テレビやバスの車内など、美術館の情報を目・耳にする機会が多くありました。また、SNSやツイッターなども取り入れられ、多くの方に美術館に興味をもってもらいたい、足を運んでもらいたいという思い、努力がうかがわれました。</p>	

■令和3年度 浜松市秋野不矩美術館外部評価

委員名	0
1. 展覧会について	
評価する点	
【所蔵品展】 令和2年度は、絵具の色に注目して展示をされたということが分かりました。色々な視点で見ることでまた新たな発見につながるのだと感じます。	
2. 教育普及活動について	
評価する点	
コロナ禍でせっかく計画したことが実施できず残念です。機会があればぜひ実施いただきたいと思います。	
3. その他施設等について	
評価する点	
施設の外観を目にした時から、日常から離れた空間・雰囲気を楽しむことができます。この施設だから味わえる、楽しめる展示を工夫されているのだろうと思います。	

指定管理者の指定について（浜松市秋野不矩美術館）

(提案理由)

浜松市秋野不矩美術館の指定管理者について、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき、次のとおり指定することについて、同条第 6 項の規定により議決を求めるものです。

(指定の内容)

1 施設の所在地及び名称

所在地：浜松市天竜区二俣町二俣 1 3 0 番地

名 称：浜松市秋野不矩美術館

2 指定管理者

所在地：浜松市中区板屋町 1 1 1 番地の 1

名 称：公益財団法人浜松市文化振興財団 代表理事 伊藤 修二

3 指定の期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

(参考)

1 指定管理者の概要

公益財団法人浜松市文化振興財団

- ・設 立：平成 5 年 7 月 2 1 日
- ・基本財産：2 1 億 3, 9 7 6 万 8, 7 6 7 円
- ・設立目的：芸術及び文化（以下「芸術文化」という。）の提供、交流、創造及び発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をとおして市民文化向上及び地域社会の活性化に資することを目的とする。
- ・事業内容：①芸術文化事業の企画、運営及び提供に関すること
②芸術文化活動の支援及び交流の促進に関すること
③芸術文化の振興を担う人材の育成に関すること ほか

3 提案概要と評価内容

	公益財団法人浜松市文化振興財団	東海ビル管理株式会社
提案概要	<p>①秋野不矩と美術館の魅力と、財団の事業企画力・発信力・ネットワークを融合した多様性のある事業展開をする。</p> <p>②秋野不矩の調査研究及び成果を展覧会や企画を通して広く共有・継承し、地域の誇りである秋野不矩を市域と全国に発信する。</p> <p>③秋野不矩美術館と地域の相互連携による地域活性の推進を図る。</p>	<p>①利用者の安全、安心の保証、質の高い効率的な経営の推進と公の施設としての公平・平等の確保および協働・共生による新たな交流拠点として地域活性化に寄与する。</p> <p>②秋野不矩研究をはじめとした様々な研修プログラムを実施する。</p> <p>③秋野不矩美術館と他の関連施設と連携を図り講座、イベント等のフォローをし、地域交流と活性化を図る。</p>
提案金額	<p>(令和4年度) 76,600,000円</p> <p>(令和5年度) 76,600,000円</p> <p>(令和6年度) 76,600,000円</p> <p>合計 229,800,000円</p>	<p>(令和4年度) 72,001,000円</p> <p>(令和5年度) 72,001,000円</p> <p>(令和6年度) 72,001,000円</p> <p>合計 216,003,000円</p>
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・既に美術系職員を採用し美術分野に力を入れており、事業者の強みであるネットワークを生かした提案がされている。 ・作品解説ボランティアの育成、建物に焦点を当てた周年事業など今までにない提案について評価できる。 ・地域、その他全国との連携、施設の地形を生かした来館者サービスの提案がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋野不矩美術館の清掃業務を請け負っており施設保守に強みを持った提案がされている。 ・キッチンカー設置など、秋野不矩美術館の現状での弱点である来館者の便益に関する提案がされている。 ・作品の管理、活用について、展示に際して関連団体と連携し協力を仰ぐなどネットワークを生かした提案がされているが、日本画の取扱いにやや不安を感じる。

4 選定基準・評価結果（採点結果）

評価項目		配点	得点	
応募者（評価対象者）			公益財団 法人浜松 市文化振 興財団	東海ビル 管理株式 会社
1 施設運営管理方針に関する項目（合格点 4.8 点以上）				
(1) 施設の性格や目的の理解		4	3.1	2.8
(2) 提案が市の施策に沿ったものであること		4	3.1	2.6
小 計		8	6.2	5.4
2 事業提案（計画）に関する項目（合格点 29.4 点以上）				
(1) 事業の具体的取組み方（機能性）		13	9.5	8.7
(2) 施設の運営体制・職員の配置（責任性・実行性）		6	4.3	4.0
(3) 適正な管理・モニタリング（規律性）		5	3.6	3.8
(4) 安全管理・緊急時への対応（安全性）		5	3.5	3.5
(5) 市民サービスの向上（独創性）		12	8.8	8.4
(6) 環境への配慮		3	1.8	2.0
(7) 障がい者への配慮（雇用・利用等）		3	1.8	1.9
(8) 平等利用（平等性）		2	1.2	1.2
小 計		49	34.5	33.5
3 指定管理者に関する項目（合格点 9.0 点以上）				
(1) 団体の人的・財政的能力（経営の健全性）		5	4.1	4.0
(2) 施設の運営実績（団体の能力）		5	4.2	3.9
(3) 団体の地域貢献（地域の活性化）		5	4.1	3.7
小 計		15	12.4	11.6
4 活動拠点に関する項目				
浜松市内に主な事業活動の拠点を置くこと		3	3.0	3.0
小 計		3	3.0	3.0
5 指定管理料に関する項目（1）（合格点 6.0 点以上）				
収支計画の妥当性		10	7.7	7.2
小 計		10	7.7	7.2
6 指定管理料に関する項目（2）				
$\frac{\text{上限額} - \text{提案額}}{\text{上限額} - \text{下限額}} \times \text{配点}$		15	0.0	0.9
小 計		15	0.0	0.9
合 計		100	63.8	61.6